専 中 兒 科

井路

度量ス

險

櫻井內科醫院

資本金

大連市伊

勢町六十

會株社式

(日曜水)

を陽氣に

健

2

3

ブリキ店

三篇と、外に國歌一家

篇を今回レコードに吹込み、廣く天下に發賣する事に致しました。 賞に十八萬篇。谷家の嚴選を経て約三百の優秀篇を得、その中から十計は昨秋、巨費を投じて瀟天下、に清く明るく面白い「健全なる歌」

流詩人

諸名上

上學の熱烈後援

**襲界の三大路襲品** 

·第用信

# **費** 大連市監部通 嘉納合各會社大連支店

五五二五番

时十葉六K 制十紫五区 时十葉三区 尚續 唱合部四 ■ 数 天 君 浪君 千安期可 つくしをつんで(機 移 ジャワ・メ ゆけよゆ 7 々新譜發賣の豫定です ヤ かさ 本よ る 愛 6 は D 皇 る 國さで蘇聯維飾 D は か 13 けゆけ(糖 監修) ディ 鑽 6.7 D. 極 坊 本(紫 仰(結禁物作為) 國(短 踏鶴) 明(紫紫红藤作師) や(株はな生作品) 娘(資本 製作師) 代安部者報客 作詞及作曲者 **美**二作画) 疑性的) 金内を確設 \*亲 **阿 京 淮 子** 會講談社 御期待下さい **第7**子 成于于 日本の少女にふきはしい歌楽曲、 子守順は、爆性髪の凍きが続べま しい変にじみ出てある名曲、 「作、歌手は可愛い童盛男の天才、 作、歌手は可愛い童盛男の天才、 作、歌手は可愛い童盛男の天才、 で、歌手は可愛い童盛男の天才、 を関いた。 ・ 日間が赤線がで明るく、 ・ 日間が赤線がで明るく、 ・ 日間が赤線がで明るく、 ・ 日間が赤線がで明るく、 ・ 日間が赤線がで明るく、 ・ 日間が赤線がで明るく。 三越を主とした日本情調ゆたかなの底からこみ上げて来る、最も大の底からこみ上げて来る、最も大 で軽較な酸い、勇気百倍する傑 治外發展を酸い、勇気百倍する傑 地外致度、近來稀有の神曲との で軽較な時、近來稀有の神曲との 日本に生れた幸福と、日本男品 建瀬な無難とを、大らかにも鷹ひたまへた行満出景の唱歌で、彼に たまへた行満出景の唱歌で、彼に (建設)

> 医学は王極清鮮の物を特に選擇して差上げます 際をモットーと致します 特に宿料の勉強と親切町

東衛島町

屋旅館

I 新譜

正に樂壇の總動員 に適した美術だ。 余はその事業の造成せんととを祈るものである。持つものはない。 今回講談此がキングレコードを作り、便全なる場 作曲者、演奏者共に、 東京書等機器 島崎 赤太郎先生 で、社会は明るく楽師は利かになるであらう。日本教域の動員の觀がある名曲ぞろひである。 レコードを作り、健全なる歌を選く天下 兩面吹込一枚

故にこ

安達謙藏閣下 満書堂書籍部

本事業の達成を祈る

人悉く讚嘆大激賞!

禮讚、

推奨の聲湧くが如し!

內務大臣

野市者マルキシルさして 関節 マルキシルさして 要価二十六後送料回続

佐の養金を表され、打頭を孵れて動力される事になりました。戦づて製品の衝形なる事態に懸なく、呼快にして精散を交べずにはよし、世界最新式のボリファー式電気吹込をもって野飛に推発する 日本ボリドール商會は、この運動に消除する。 大大人保利通傳 東原五十二後送料十二後 東原五十二後送料十二後 東原五十二後送料十二後 東原五十二後送料十二後 東原五十二後送料十二後 東原五十二後送料十二後 東原五十二後送料十二後 東原五十二後送料十二後

思はず躍り出す様な陽氣な名曲

歌と伴奏は名手の熱演

學校、會社・青年暋、工場等で歌ふによく、心が自づと爽快に、感情は和ぎ、悪煙無邪氣な童器や唱歌一賑かて帯らかな小唄一

とに、感情は秘ざ、勇氣が湧いて来ます。 歌― 賑かて帯らかな小唄― 民謡、何れも名作イン

質演そのまゝに聴く

事が出來ます。

誰方も御家庭にお嫌へ下さい。

作曲は大家の感激に成り

期山 秋月 骨州 著 實 着 **雅芳譯** 

ロフンンでは、 

大阪屋號書店

強精血 **半**化 K > 精 日华





護會政治の形態は るのであるから政無政治もそことでるが知さは挟む るものご観灯ばならぬがヨリウざるが知さは挟む るものご観灯ばならぬがヨリウざるが知さばたし 世界の壁局に塗ふて多少は緩む

卅億一

千餘萬圓

日郷の背地込みさなつてるたが、
変配中三千峰萬面も六日中に市中郷
がに買入れられた、
かくて日戯背
がに買入れられた、
かくて日戯背

の五千五百萬間は大部分

滿鐵の埠頭料

登配裏務の整模(挙天電話)

金改正で陳情

ナショナル旅送

界能の現象だが来る

大連商議から

貿易四利

脉

入超額七千六百餘萬圓

(那の治外法権的

七五月までに

日本品騰貴し 購買力を制限

政局前途觀 政局に不安なし 火曜會近衛文麿

登院と窓廊の低に間る事が出來所願のいふ如く体會明けの職會物口皆根の其後の經過が果して

これが理像を進めてゐるが、國民政府立法院長胡漢民氏は本日余(本社特施戦)に難して左の娘く職「南京特體六日魏至臺報」國民政府は一九三一年中に列国の支那における治外供権を撤続すべく且下 制民食譜開催期、即ち本年の<br />
五月五日以前に完全に撤<br />
横する、<br />
支那における治外法権は各國がこれに對して<br />
養成すると否とに拘らず

**裁釐命令を肯かず** 貨物を抑留し

ポグラ税關では 新關稅率未實施

の輸入貨幣も表だ新標率を適用させいて取引へ活要の際と精密を の輸入貨幣も表だ新標率を適用させいて取引へ活要の際と精密を いれず、一般は約二分五原増さなり の輸入貨幣も表だ新標率を適用させいて取引へ活要の際と精密前輪 いれず、一般は約二分五原増さなり なるもの多く、際に物館が騰重 なった。一般は約二分五原増さなり なった。一般は約二分五原増さなり なった。一般は約二分五原増さなり なった。 、一般は約二分五原増さなり なった。 、本列数であこさは無いき辿られて はれ、出触税率が高ければ却で輸 するやうなこさは無いき辿られて はれ、出触税率が高ければ却で輸 影響未だ現は丸ず 政府は眺認に劉道とその帰換けの「の悪質をなずが針を決定した」の意識を除機なくされた掛北衛。国の收入を訳上と同時に潤さ煙車(漢日五日教電通)中央の命令で「ため今回陣局の悪質により三千萬

定例初閣議

首相官邸で開會

新關稅を實施の上海 の修らに立つて新眺通信社のフラの修らに立つて新眺通信社のフラッシュを冷がたのち歌歌塾に参集新年の挨拶を交換したうへ楽る九新年の挨拶を交換したうへ楽る九新年の挨拶を交換したうへ楽る九

があるが、米部院を経験を載で造れて、健繁製についても極く意見 か不明であり、勝倉で覧して見てればどの程度の努力なして居るの

和歌(としてはあれだけとなるものが、 したでない、又今斯響に したない、又今斯響に れる情報を見ると可慮り なるもの多く、東野報に なるもの多く、東野報に なるもの多く、東野報に なるもの多く、東野報に なるもの多く、東野報に ない、又今斯響會

**關係列國の賛否にからはらず** 胡漢民氏記者に言明 に斷行 も尚は大蔵省にて翻まらの違 部を纏めるにはなほ数日 にて決定すべき提出方針 にて決定すべき提出方針 具族院副議長

に 輸 入 九八、七七三 円 田 国の出経増加を示さた

金銀流出

三億餘萬圓

大連職工會勝所では建設が正された。 大連職工會勝所では建設が正されたる補職の地職総会はおさして機能ではの助長が至大連者の施した。 ては役前の態さし使等数正を見ない。 では役前の態さし使等数正を見ない。 では役前の態さし使等数正を見ない。 では役前の態さし使等数正を見ない。 これに数した記を項の管理法と同じに依然にない。

110、九六八 教行の大職衛證郷一億九千萬國中 一一、七二四 大藏證券消化 東京六日景電通 郷殿十二月報 日銀 背質 込の た

和五年中に於ける金銀輪出入高は たの如くである(単位千割) 輸出 ニニー、〇〇七 ・ 九、六八七 ・ 1二一〇、六九四 ・ 1二一〇、六九四

(根)なって事態に接続の立場に置か を三割の課務のため観安の質能さ を三割の課務のため観安の質能さ さつても冷慰五物、質味料三物、 **甄**天仇氏香港

後任は近衛型

大體、政府の意見一致

一、定時大會廿一日午後一時開會 警會無限後の機會において概念に 発事長の挨拶、建数の漢政、宣 総評される機様で展院において 医 単 備 打 合會 準 備 打 合會 ※ からしているる際動計事他の駆成 及び整後影等に調しては樗田液樹 などの被称徴離の政府委員とする意見 が信はれてるる際動計事他の駆成 などの接続的のな所委員とする意見 が信はれてるる際動計事他の駆成 などを後継等に調しては樗田液樹 などの接続的のな所委員とする意見 などの接続的のな所委員とする意見 などの接続的のな所委員とする。

車物にも適用することになると

長取初立會

を人口の約四都に離る本だから ・ 放映橋が既ださ、自動車が便能 ださかいつても強底ラデオで数 ださかいつても強底ラデオで数

恐慌狀態

途に立會中

止

速ならしむること ・ 単頭構内に於て麻袋の提別、 ・ といれたきこと をいたきこと されたきこと されたきこと

英經濟使節

で使用されてゐるラデオ・セット の就は合誌一千三百四十七萬八千 六百だがその内谷州派にして起し がのはニューョーク州の百七十 経二千、カリフォルニア州の百七十 五萬二千、カリフォルニア州の百七十

大連經由歸國

五十七萬。イリ

金塊暴騰ご

銀塊慘落傾向

河北統稅局の暴擧

湖北省の裁釐補塡策 尔の臺灣 新聞解令に過ぎの

總督說

1

は六日ロンドン鉄城十四片八分の一、ニューヨーク鉄城中四片八分の一、ニューヨーク鉄城中四片八分の一、ニューヨーク鉄城中四片八分の一、ニューヨーク鉄城市場で大小山八分間で大き上げた。金路棒も百五十開やさ大豪乗せた流でたる海峡では日先き停止のでなく市場は恐慌球艦に関って

米陸軍豫算

四億四千萬弗

豫算案は必ず議會を通過する

200

東鐵代表

來十七日出發

太田長官門司で語る

對議會問題の意見交換

出遺ふ位のもので断じて不安で まアこの船のやうに途中濃霧に まアこの船のやうに途中濃霧に 人だヨ ただはないが決して危険はない。 アルは停土産の林檎が厚山ある ただ。

一日場け準備ではありません。さし長官の手衛物が大小トラ

で突がにまざらし いづれ二月上旬には婦任のつも りだか、時局次第ではごうなる か解らの

「ハルビン特體六日韓』日高、東 立職務策略會談に出席する東安鐵 三日雷地賽、十七日東京に護療す る智である

東支鐵道が

運賃割引

一、海岸線防備費

二、七三九、〇〇〇 内布哇及比島分 九六二、五一〇 パナマ分 六四八、六三二 一、兵舎造態計畫費 三、〇〇〇、〇〇〇

實用習字講習會

金流入防止 佛、英國と協議

ついて 石塚總督を勝計事件で責めるの 石塚總督解論者が少ないなん て石塚總督解論者が少ないなん 石塚臺灣總督の

更迭説と其後任

また残で強敵を置きす何れその時まの駆はなからうかさも損せられ

太田長官の榮轉實現可能か

のいても貴族院方蔵で甚られても貴族院方蔵で甚ら有力な技任候補 果長官も有力な技任候補 果長官も有力な技任候補 (株たらの感を抱いても野社事性は (株たらの感を抱いても野社事性は が有力さなった面もて政友會は勿。 が有力さなった面もて政友會は勿。

樂觀せず の前途 

満鐵の景氣 甘井子埠頭から 特産出廻り遽に激増

三月に延期 全支鐵道會議

松舎谷織路局は交通部舎により来る一月十五日全員織路青譜を整絃楽る一月十五日全員織路青譜 遼寧司法會議 編東語在外研究員テ命ス 群馬蘇立安中高等女學 大野 勝子

開東 職解合 (四日付) 支那語獨逸語講習

市内若狭町線心輸道場に七日午後 大時かち本年度の実得古心始める では日は定刻中松館」の投援があ つてそれより至創道の型があり有 段者度外者の稽古に移り終って緩 関き式に入ることになって過る。 因に実稽古は常日よ 向ふ三週間 にて皆動者には實狀を授奥する が都合により数分延期になった 中別報気に供ふ気能験正の初 が都合により数分延期になった ・ はにて近く意表すると における歌歌音級に二三異飾ある 高等科生入所式 練心館道場寒稽古 

- 八名來哈十日養大連總田藤岡する 新經濟狀態聯彩戦トムソン氏 一行 ・ 新経済状態聯彩戦トムソン氏 一行 ◆定期後場 市 餞

滿鐵消防隊異動

送保(愛込五四〇〇 五四八〇 大豆(裸物 出来高 二二十重 出来高 二二十重 出来高 二二 出来高 二二 出来高 二二 出来高 二二 出来高 二二 出来高 二二 コ 油 一七二〇 コ 油 一六八〇 一六二〇

電報

一大で見れば、だんくと歌めるやう しんで見れば、だんくと歌めるやう ならば、魔女は、非常なるおもと ならば、魔女は、非常なるおもと、特に憲詩は、戦にを持つさい、すらくくさよ ・ 記述・ カといものではないのる。満州の同胞が支那語や らしい。誰みぶいやうに側下 渭城の朝雨は一霎軽塵をうるほ

は正に世承を紹のが派本の懐縁は 群ながたして養くらき(季) 更らにそゝぎあまれく、客舎は 素姿を弄ぶ、千樓の柳門は新た で 青々たり。

が、はのいくが、からな意味のもいふものいく英文節文さいふがくといいならのとく英文節文さいふがくとはいいからのとく英文節文さいふがくといいからのとく英文節文さいかがくといいかものとく英文節文さいかがら

一次なる国語と別種の目的を有つて 単弦の変なを厳止せよこいふ論は

B

遊交は、選字ばかりの対

たらいかにも関総整総、何さもいこの詩ならんみりて味はつて見 数人なからん。 眼前敌人なからん。 人生會ふここ少し。古より當貴 功名は定分あり。容儀をして庾 獲性を休めよ、君にすゝむ、更 気につくせよ。一杯の酒を。 見恐る。西陽闖を出づれば、舊 見恐る。西陽闖を出づれば、舊

るう日本文學は、段名受り女で書 のいる〈こゝに群ふべきこまが あるが今は本絵でないから省略す ないな〈こゝに群ふべきこまが

特許と逮摘は東洋一(承) かけら逮摘は東洋一(承) かけら逮摘は東洋一(承)

お意せればならか。 複文々々さ目・でからなかった状とにいふ人のあるのは、 変字ばかりの女に「変文」さ名をつけたための影解――この名稱のつけたが、 雅々賞徳に続て考慮が

速へばなやまじ速はれば悲し明日は保座のアスファルトへ承) ネオンサインについ誘はれて

羊頭狗肉の

整番は突いたがばらりさ散つた (細文原案のカクテール(特)

※不の コ三四郎」のストレート・ 業でいふこ思ひ出すのが、夏日

意せればならい。複数々々と目

ら同様。 手元にある流行明か事げ

さ、漢字ばかりで書いた

(日曜水)

にないのである。

一環代人――珠に満洲にゐる我々は、

一三の際によって説明しよう。 たっておけなは似かない。ために二 か人の名詩を味はひたい。ために二 が人の名詩を味はひたい。ために二

はよく部るこさが出来ない。 覧は ・ 一 るるので、まが始ましかつた野ら にい作品での心臓である。このロマン はよく部るこさが出来ない。 覧は ・ 一 るるので、まが始ましかつた野ら ・ こむで似点である。このロマン

行つて、山羊や類をみたり、

東京に居た間は上野の結圾屋へ

の結婚屋の賦上の、せまい艦の中

王維の「送元二使安西」これは

変女の中から滅跡をわき出して、 かうした所動

日本が学は、所書で変をいるのとには、 ある。建した場合れない。様に十八史略や しては破残し得られない。様に十八史略や を活の上にざれだけの指針を記している。 でから特殊では、我々日本人の日散 にない。だかは今野に寒々を要 にない。だから特殊ではさんなに は火か見るますも明かなさんを要 にないることで でかります。 では、我々日本人の日散 では、我々日本人の日散 では、我々日本人の日散 では、我々日本人の日散

いよだれるへからしてあるのであ

いる概の外にかちた人数な、ちつれうよく山羊の口までにこどかな

先づ明け

明るく、これである。つや、かに、一葉の質」である。「季の質」である。「季の質」は「他記」を表示でき作品と

は、作者のというで、この作品は作品は、作者の様りのまい終く人様である。もう一度とから、こからこの作品は作品は、作者の様り芝居であれば、作者の様り芝居であれば、

る。 然識さういふ 戦物に何をやる

年隨筆 は、幅からら我々ごま。 けやうな無もちがする。 を希望する

作られ、一句句に思や女で変々高の詩が共後さても人口に膾炙し。 の詩が共後さても人口に膾炙し。 杯ン酒。西出当、陽陽(無) 動人 で行くのなどる鞭、滑破は騒が降って嘘い膨もしつさりさうるほひ 味される七橋でも送別の電船で合 を柳色新する 動、背・更っ、塞さー 清城・朝雨、温二軽原つ。客舎背 を 一句句に男や女で交々高 かいまって学歌をするできまい 地歌によって学歌をするく超で数 る。しかしそれは作時者たらんこ る。しかしそれは作時者たらんこ ゆうるさく呼称を殴すことであら に焼脈があって、作詠者はいかに に焼脈があって、作詠者はいかに こさである はれない。難し漢詩ならではさて

を添かせる。金州に行つたならば 山川草木嶋荒原。十里風麗新戦 山川草木嶋荒原。十里風麗新戦 教治病 ・教育時出籍如野。名汲川流 ・教育時出籍如野。名汲川流 ・教育時出籍如野。名汲川流

そこで百干記の説明をきくより も、我々の感情は、直に二十五年 のむかしに反って、ぴったりご然 時の銀分を味はふこごが出來る。 高音邱が寄衣曲、 郎の寒きは妾の寒きよりも甚だ 総多くこて針線溢れるなり。 とい手線の運きためにあらず。 とい手線の運きためにあらず。 ではない。それぞころかギに似て

本にはいてはないか。 本において、世典に懐宗教々さらの歌響にある那計を優ひ歌がいてはないか。 ない。歌者は遊酷なる歌詩教をといてはないか。 ない。歌者は遊酷なる歌詩教をといる。 ない。歌者は遊酷なる歌詩教をといる。 ない。歌者は遊酷なる歌詩教をといる。 ない。歌者は遊問なる歌詩教をといる。 ない。歌者は遊問なる歌詩教をといる。 ない。歌者は遊問なる歌詩教をといる。 ない。歌者は遊問なる歌詩教をといる。 ない。歌者は一二首づ 何徒士町で下車しては、 鬼ピルの消儀支社に載めてゐたからである。

技館のおがたづ暗くなる。目下のの他の面が先づ暗くなる。目下のの他の面が先づ暗くなる。目下ののもなりの果てのがには、既園園 おいったなが、メヤウ・ るたやうな様の山学が、メヤウ・ メヤウさなくのであつた。 なるまでなひさり屋上庭園に登積の松坂屋へ行つたものだ。くらく 歌歌のうしろに日が光むさ、不忍 一般で遊びにふけってるた子供連も 頃になると屋上でぶらんこや着り にも一頭の明りがさもる。 電線電車を 一 羊に吹てゐる。然と羊に似てゐる 野海をうづ高く権んだ

たいしのである。 使はギの配をみないしているがない。 船が、ふくくさ脚とさらたました。 をの時日の光りが明るく射した科 な、総なさり出してゐる人のだに も高しみもかみころしたやうな臓 がしくて可楽しくなるのは、悪び 特面の羊である。羊の槽の前で 僕の友人溝鐵東京支社のKさ しづかに階を下つていった。 それから思い思すのが、上野豚

と達する確實のか 獨得の特殊作 を を 変 元 本の 大阪市北區會根据 大阪市北區會根据 効力を有い を以て容易 の目的

利いた 0 类 目 飾 ライ UX \*\*リ穀 物 化山

盒日

強健

家の守護薬

悪いかぜが流行りますから御用心 僕もヘブリン丸で治りました さ真心こめた茶の飲り

式株堂天参 市亚大

**南部を害せず、心臓を保護し、頭痛を僻め、耐作用なく、穏やかかぜの寒こ名が付けば、何でもよいこ思ふのは大きな間違です。** 

酒 5.7: 3 よ t

までは!

冬背廣三揃服 耐寒防水覆布

冬學生服、 自動車用レザー 洋服· 巾七十五时モノアリ 室内裝飾

な、そうしてそれらに売しる動かったなことのない一匹の若に一。こんなことを概然と若の厳な空に、気にこの一個など、大きにある。

呼なる場合でも数女自身の於ける一流の数女たる「長」

いものである。事候にも悲哀にも

があるのかもしれない。 どうにか

六百八

世界の暗黑街

9

在東京 波 湖 川 生

では下女を膨ふものは続きない。 では下女を膨ふものは続きない。 下がには総様を無へてゐないけれるでも食事は全部投びにおいて助ふってゐないけれ、 を一巻三等投ばにはにずなを膨ぶものは続きない。 は、ながないから、二等以下の収入の は、し、一等投ばにはにない。 とのであるから、二等以下の収入の は、し、一等投ばにはにない。 とのであるが、二等ないけれる。 とのであるがら、二等ないけれる。 とのであるがら、二等ないけれる。 とのであるがら、二等ないけれる。 とのであるがら、二等ないがれる。 とのであるがら、二等ないけれる。 とのであるがら、二等ないけれる。 とのであるが、二等ないけれる。 とのであるが、二等ないけれる。 とのであるが、二等ないけれる。

少そこに同様情職れむさいふ館画 である。さうであるさするさ、便 である。さうであるさするさ、便 を発生しく思ふ無持には、多

日地谷公殿に賑かみにいつて、い

日比谷公賦に熊をみにいつて、

先づ健康

0

お納盃

重ねませ

ちせませ

なして乾

めてあたので

で身をもがきにもがいて様に触め

廢娼運動と

立橋市連大 図

業 揮發油 龍印ボイラーグラハイトペイント テキサコルーフイング、ピツチ 町 車 石 サラダ油 元

切 油 商 \*\*

大連市紀伊町五五番地

+ ग्र 本館東京山田資生堂

こる所の選店にあり

遺遺元

大甕偷閣工業林定會垣

にねつを下げるハカリ印のヘブリン丸こそ真のかぜ栗であります

品產國夏優

三大特徽。消化率最大

イフィー脂の

0

**運筋**這三八八七、五七九八番 大 連 市 連 飲 街 榮 町 通 店

元 突

各種ストパーになり、 在庫豐富多少に拘らず御用命願ひます 日 種 温 15 材 " 2 グ式グ

撫順嚶鳴會

初

整治工場を聴察十五時五十五分登炭職一般情況顧取それより館天郷

アのニュース

開後場合に称る

そにな

**戦合の必要めるな認めたさいはれ** 

の確特を始め部員の針初式を能し一時から遺場開きをなら吉田内欧

関統一が目的であるさみられてゐ

1:

領事新年宴會

福升慶が破産

を挑起立張敬心神に山口會長財論

瀬戸所長辭職

撫順署寒稽古

日三萬七千二百三十四國九十二段 に比ら點も四千三百二十四四九十二段 の大處突を売ら反繁に同原即 戻 の大處突を売ら反繁に同原即 戻 一四四十六段と三ふ擬ひ段も胎 全が幣加らてゐる、商満洲以上不 十六通で四年暮の二十五萬八千五百一百九十七通に地を覧に八千九百一通の大戦少を示と世の不認識を置 影線のざん底さ酔はれた五年春間を頻響に反映する局の窓口、 したる石炭代朝鮮銀行紙幣其他取

断然惠れてゐる 撫順スケー 十八日全撫順の大會

大日八萬四千五百十五回八十四銭 大日八萬四千五百十五回八十四銭 大日八萬四千二百九十五回八十四銭 大日八萬四千五百十五回八十四銭

百萬を突破

を本の密報と行ってもたから、現った な質量変ではあるが事面ではモル

は各國の國施縣へり新着を飾ぐ光。

日本人の平均死亡

海貴來適應症

事故頻發事故頻發

腰で不・ナ 痛で 眠って

小見二名は帽子まで被つてゐるか 小見二名は帽子まで被つてゐるか

は新たより飛行を行ふことにな り四日間候職したが、長官公署に ては正午から在院哈各國銀事内外 の無質を受けた、この日宗像金吾 の無質を受けた、この日宗像金吾

奉天局總動員で活動

被害者一名

途に紹命

(日曜水)

電子の特別を表現の主ででは、 一個の特別を表現の一個では、 一個の特別を表現の一個では、 一個の特別を表現の一個である。 一個の一個では、 一個の一個では、 一個の一個でである。 一個の一個である。 一個である。 一面である。 一面で。 一面で。 一面で。 一面で。 一面で。 一面

人分 常日、郷生、動品、加帯、静原谷 行 常日、郷生、動品、加帯、静原谷 行 人 十 日 のは 出一初式 は十 日 出一初式 は十 日

院園に競争的進出をなる。又英國

現の運びさ成り戻り、天岡鹿品愛 地震流言内外品野比見本展覧會、ボ 神の の の で な地 官民の 熱心なる 鑑力に 使り の び な地 官民の熱心なる 鑑力に 使り の の で ない はい かい こう はい かい こう はい かい こう はい かい かい こう はい こう

企業と金融との

合理的協心

競の第二年さして吹牛さ共 の。之を要するに昭和六年 では、これをできる。 を現て壁室の揺棄れる 部人は此の機會に就て一層 部人は此の機會に就て一層 の時に 年第三時さ云ふに別川職館長以下 の機能でマットに機能する兵士は の機能でマットに機能する兵士は を終めれて非常喇叭に飛起き歌鼓 を正常常喇叭に飛起き歌鼓

城内の讀者へ

為替や貯金が激減し 拂ひ出しが頓に増加 

氏は今隠滿伏かむ南島洋谷に入一始とた

事実署では四日午前九時から御用 事実署では四日午前九時から御用

鼠の職と概念があつて整食であっ 振歌館に然て互應者を儲したが器 を監整線器設して、三服日に取り

たさ

忠魂碑參拜

支南部沿線における唯一の特配

電脈に揺き新年繁會を離したから寒臓器山極影戦事は五日午後五時代

署員互禮會

お巡さんに花札

抱腹絶倒をきはめた

事天間書館さ八幡町間書館では六 事天間書館では六

本社主催の福引會

施力して質繁隆を組織し市内を練って警測を対すりができまりであり続って等天器さいのでは、 のでかりのでは、 のでかりがあり終って等天器さいのでは、 の大量版では、 の大量を の大量 の大量を の大量を の大量 の大量を の大量を の大量 の大量を の大量を の大 のた

ハパロフスク領事 五日通 原氏 都下二百名を従へ四 領事 四日河季

年は十二七二軍、十一月一八七車十二月中旬までに一六一車合批三一一車を混合保管に合格し大連に出してねる海峡町域の者さして在。 カなる観響である、獲つて同號のカなる観響である、獲つて同號のカなる観響である。

京政會を能した。

幾つ年をとつても

動脈が若ければ

酌婦

御酒席に限り花代申受ず

事、職田生氏、市中職では中原輪組理 あるがその新年初端大會が聚る十 の験々たる人士を以て組織されて あるがその新年初端大會が聚る十 て野行される さうになつたのでなかでは正服のま、強盗はいたする者も現れこと 變死者二人

吉長線の

の金融能で昨年程の活択しない見の出題りも農家の質惜み、複様

なって南部流線の板機に参響が作念を惹いてゐるがこれが脈像をは各方面に影響するところ多

希望社友懇談

延命長壽かできる

四十歳以上からの攝生法動脈の若さを保つ為に

哈爾濱の正月

陰性と決定

滿鐵病院試験の結果

自銀にうづもれたハルピン全市の を確に新年の塚風に生々さしてる る、一日午前十時からは日本總銀 を通過をできます。日本小 を通過をできます。日本小

▲中村旅園長は四日朝南行

がない。 必要すると 必要変更を

洋服附屬品並知類一式

各學校館指定 中 地籍官衙御用 按順市乃木町三丁

鞍

Ц;

を訪れ次で院職中央事務所監査 を訪れ次で院職中央事務所監査 を訪れ次で院職中央事務所監査 を軍者醫務局長棚田軍器機監は関 郷田軍醫總監

は各所に於て左の通り野行せられ戦山に於ける昭和六年元氏の行事

民の万曜會を行ひ高橋

元旦の行事

響は民國政府行政院の命令で本年

△鞍山紳社では午和十時より元旦 原機の有志、一般市民参拝さた 原機の有志、一般市民参拝さた 本小学校では午前九時より回該掲 掲並に四万拜、勅語捧讃、作道 影手賀式奉行さた

中風のが、概念をもつて居る、七十年八といふ、然らばこので、大きには一般にいつてるる、七十年八と東西の有名な生物学である。七十年八といふ、然らばこでも心身ともに健かによって百歳までも心身ともに健かによって一番になって一番が、大きによって下るが、大きになって下るが、大きになって下るが、大きになって下るが、大きになって下るが、大きになって下るが、大きになって下るが、大きになって、一番によって下るが、大きになって下るが、大きになって下るが、大きになって下るが、からば、ちゃくになって下るが、からば、ちゃくになって下る。大きに大きなか、からば、等さって「一番」と

今年の年賀郵便 天

るから質察はたどの二人でその他語智生七名が来接した。この他語智生七名が来接した。この都とい執務中福润して止めたのが大名あつたが何れら自宅の辞を位て渋み襲者の手に掛つたものがなかつたのは何より挙ひで 野歌、一家三名歌語された長粉北 後、郷野年前長に飛波を称人のみで記人難は とれる 一門外四 路の散製長田崎(三) だは な歌語 画脈八家子在他の内山梨さ内総関 のでは を結んで居るが、表配は今崎郷 のでは のでな のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでな ので

水學的では八日城第三學界の給業 各學校始業式

航業聯合の成立

車機等に故障を生でも恐れあり特を上近年にない腹寒のためレール をは谷斑髪御扇にたいして弾車圏 をは谷斑髪御扇にたいして弾車圏

置

世代である。 一般に表するに決定したが、名様は 本質代するに決定したが、名様は を質代するに決定したが、名様は を質代するに決定したが、名様は を質代するに決定したが、名様は を質代するに決定したが、名様は を質代するに決定したが、名様は を質になることになったのは軽率 を変したが、名様は を変したが、のが、中である、かくの娘と東北航券会 を変したが、を変した。 を変したが、を変した。 を変したが、を変した。 を変したが、を変した。 を変した。 を変した。 を変したが、を変した。 を変した。 を 船賃の統一が目的

年は事故二四八他中勝線十他、二 大年は二一一悦にたいし万般、本 大年は二一一悦にたいし万般、本

新年初謠大會

一日正午より消費社覧供集部に統 の一日正午より消費社覧供集部に統 の一日正午より消費社覧供集 の一日正午より消費社覧供集 の一日正午より消費社覧供集 の一日正午より消費社覧供集 の一日正午より消費社覧供集 の一日正午より消費社覧供集 の一日正午より消費社覧供集 の一日正午より消費社覧供集 の一日正午より消費

おいても完全に成めさって ・ 工作のが概念ことが可能であり、大百四十八節八六郎、千 ・ 工作のが概念ことが可能であり、大百四十八節八六郎、千 ・ 工作のが概念ことが可能であり、大百四十八節八六郎、千 ・ 工作のができたとが可能であり、大百四十八節八六郎、千 ・ 工作のができた。 ・ 工作のできた。 ・ 工作のできたた。 ・ 工作のできた。 ・ 工作のできたた。 ・ 工作のできたた。 ・ 工作のできたた。 ・ 工作のできたた。 ・ 工作のできたた。 ・ 工作のできた。 ・ 工作のできたた。 ・ 工作のでをたた。 ・ 工作のできたた。 ・ 工作のでをたた。 ・ 工作のでをたた。 ・ 工作のでをたた。 ・ 工作のでをたた。 ・ 工作のでをた

て新年被議會を開催するさ

不老長森の

雅らく原館集建、歌旨を整備して大事であって、七千萬民民たる者を修大師心の程誠に恐慌に集へぬ 一般の振舞、蛇に我が文化 そのうち最近の当流神近におけるに数のための振然に一番大きかったと、零下三十餘度の寒までレールの経験を受ける程度が難しいの 歩兵隊の 意

▲富水次長、右近原務課長は三日 大連へ五日時報課定 本林地方事務所長三日より鴻迦子 選集へ 木材商の苦境 吉 林

一般にあるもの十一税の多きに逃す をの影響を受けて一般に心波に綴りついあるが、既に維护性磁の版 は、次の影響を受けて一般に心波に綴る は、ないのでは、これに次に綴る。

非常演習

おり柳町横家に於て官民多数な招 はり柳町横家に於て官民多数な招 

不老長郡はによった食師は米要衛申込を乞ょ、これ御身の為に不老長郡の大食師とお薬・十品切時は類似聚に迷はず直接

国類似要御注意を置ひます 「類理説明書中込大第無代進星 照似要解出意を眺ひます 電話小石川五一年 日本總發賣元 川 合 洋 東京市本郷區英坂町五十二番地

メセパフ美 りょレッ オート津スポート 順貨類ルル製 森 運着 動具店

ムラジサービス 前前同同日本(有比略) 

の表別の大

和洋食料品、生野菜類較、蘑菇、、瓶菇、、煮物、黄物、黄物、黄物、黄物、乾物類

三出 0張

罹 Ξ

倉

石炭商 矢 西商

全部鑄鐵 製法 高さ一尺七寸、

特許野間式ストー

大学野問式ストープ製造元 野打 間 銭 工 所等野間式ストープ製造元 野打 間 銭 工 所野町間式ストープ製造元 野打 間 銭 工 所野町間式ストープ製造元 野打 間 銭 工 所

店商野吉

**叮葉背市順旅** 番六八一話電

-----店商の等吾

較比倒か段値さ物品

山田 話 =

學順十年町 電話四三〇番等

料

亭

花代全廢 青葉町 P

旅順名物燒饅頭製造元

御進物用珍菓色々取揃つて御座します

菓餅さなら やなとすへ すき焼 電ぼ = ^ テみ

大方 短期、チリ 短期、する法等所御料理ご弊品味自慢の季節前 ま 取 四 最 詰 版 即 最 計

様は御存じです 旅順唯一の食道樂つばみ

小の見る 定 價 六四十八四十八日日 十二日日 日日分分分分

各

店

る

b

越遊症 腳腳 洗行感啊 **咳不眠症** 

たん臭気を帮び

摩のか

12 又类

又是 12

12

根状のいたむ病状 時々面の変る疾厥

日言

F.

12

しかぜきの

病。狀

三二一五三十十 中間 四回 解释 值

本館

臺灣師

田區豐島町

職だ息を

症

洗行感胃より趣るたんせき病状

維

紗

小倉厚司

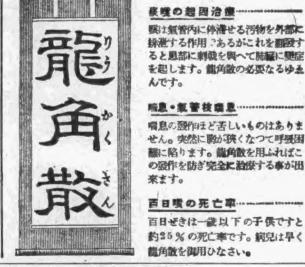
世 本洋行 大連市保護町市場

せき舞りに出で夜中オテオチ版れぬ病状

総称にて常にかなきせき出るが歌

般の目的を塗します。 龍角散は高貴美のみ配合でありますから、単極少量に

模范 模型 症状 ても類効者しく、香味製やかで服みよければ、薬味 龍 たんにてなにゴネンくと悔む病状 角 散 適 心地よき内に完全に治 應 症 +



蹊は氣管内に停滞せる汚物を外部に 排泄する作用であるがこれを翻設す ると思部に刺戟を興へて肺臓に變症 を起します。龍角散の必要なるゆる んです。

暗息の硬作ほど苦しいものはありません。突然に胸が狭くなつて呼吸困 離に陥ります。龍角散を用ふればこ の設作を防ぎ完全に治療する事が出

百日戦の死亡率 百日ぜきは一畿以下の子供ですと



呼吸器病を引起す が東敗して、其惡氣 を 症 することです。 肺結核等の病気に のです。換咳病で のために咽喉を痛め、 されば龍角散を 都コワイは、 炎、肋膜炎、

朝のほがらか 寒冷のために空気

パ ン I介 12数 便 利 - スパン 1食 12種 あ 果子パン1ケ 05錢 5 茶 ンパン1ケ 021 (目方增量) 3 舖

熊 溫 娛 滿 の扉 樂洲 の唯 乘 設 合 0 備 自動 ò 泉 車 場

讀者映畵觀賞會

いぶ其理由

以内のこと。 投書歌五十行 地帯のは採らず

大連放送局へ

CID

商品泰震樂

業勧興復

店商男盛尾松 -0-==長電

愈々今日開く

₩井得二郎 ※#東京九二章 金網殿商 西村 東商

せんぞくにてゼイゼイと息切れする病歌 機角散を御用ひなさいe おおや備前の同山生儿 新型器肛門藥商 致賣店) 肛門藥商會 及 所 を 四 一千 雨去甲南 当 からずやかずには事 書 然八進 するかんではは事 書 然八進 でかす こうか 五年 大八月 生 为

健康增進 其正 神 伽 独"。 大連市標明二三日報明の記念 0

榮 養 芳香美味の 辻 利 食 料 品 部川 茶

カノニエー

館



曜又跳

御後援に依つて、不斷向上の一路を辿る、溶解性と芳香の更に適切なる、然りる、溶解性と芳香の更に適切なる、然りる其價格の驚くべく廉價なる、生産に據る其價格の驚くべく廉價なる、生産に據る。

広哉屋見丸〇 京東

〇ミッワん絵

内地の谷峡高倉社及び祭撮影所より映画に関する資料その他興味 り本社三際講堂に於て一選問、滿洲最初の展覧會さして舞符され てゐる映画に関する感覧會を瞭響するが、本社の儲しに賛同して てゐる映画に関する感動會を瞭響するが、本社の儲しに賛同して

5千種百合子、里見明、川島奈美子、棒三四郎、櫻富士子、石川にして清淸晓鑑潔體の成功を祈つたものである『富ぁ向つて右かの髪奴骸スターが特に水社のために『清淸晓鑑潔職』の色絵を手の髪奴骸スターが特に水社のために『清淸晓鑑潔職』の色絵を手の髪奴骸とき鉄着しつ、あるが、鄒凱は東亞キネマ

わが國の

好轉じまだ

一般就であった、一般就であった、一般就であった。 一般就に七日登表される、また二高 で一般にて手機を受け続いて接館に が高は整欄して静板した、一般人場 が高は整欄して静板した、一般人場 が高は整欄して静板した。一般人場 が高は整欄して静板した。一般人場 が高は整欄とであったり際登帖を建し岩手 があるが八日のまツケー戦

鐵旅客課の調査によると汽車賃、四日ことて満洲に落した金額は滿

かされた成績左の城ら 次で午後一時よりスピード競技院 かされた成績左の城ら

佛の三鳥人

絶讃の聲湧

四等牛山(早大)三分五科八一等小两(早大)三分五科八三三等保城(早大)三一三种八二三十二种四二三等庆崎(明大)三分一种四二等庆崎(明大)三分一种四二等大崎(明大)三分五科八

家メンと、キユニイ、マルソの三 東京六二登電洞 フランス飛行

村田實と夏川靜江の夕

東路師は右に関し城による媒介を 家庭に非常な程験を奥へてゐる。

女で千八百六十七年御生蔵ルイスは故エドワード七日曜下の第一名

本 大耶爾氏共流の「勝者賦者」(殿 東はいよく | 液臓され、細胞なが ちにも一種のパンア盤のこの鯛の ちにも一種のパンア盤のこの鯛の

安ければ

ればこの際マスクをかけただが

人西洋横斷の

汽船衝突

大阪商船の二

世界に休奥、本人来談一時四時 電祭に休奥、本人来談一時四時 通祭が新八時から午後四時、通 日 が河口市場 観 家 食 堂

息帝ジョーデ五世陛下の御妹君に

感は壯途へ

伊國飛行艇隊出發す

西洋橋駅の批雑に起いた

フアン殺到、大盛況を呈

トップを切つて

満洲映畵週間の

成功を祈る

東亞キネマのスタ

■シャ間は共産業大會開催その他の政府に棋三抗論せらめてゐたが、 なるスタワ窮田大使からてモスタ

## 日取り仰出さる 來る廿六日、鳳凰の間で御擧行 歌御會廿三日と内定

一五等権準へ京城帝大ン三分七种四 大等権本(立動)三分十种八

三等寺尾(明大)十分三十五秒三二等羽田(早大)十分三十五秒二

旅順の消防

出初式

めでたく終る

野肚な防火薬者、水陽試験の網に向ってホースを

トルの風速に

常に飲める結果二、三子名の失調の りじを新式機械に使り一個八點減

千厘のひろび物

值券 月報 社

風邪氣だつたら直ぐ實効能

一時本度と共に 一年中で一番製い時候が割りました 今年からは特に風邪に無が割りました 今年からは特に風邪に無をつけませう むから屋がは蔵病の基とをつけませう むした不用意の風邪から、受けなしのつかぬ 大綱となる事が住人

ゼカ

新年

二十分大成亦種に終

一等攸(早大)十分二十一秒八 一五千米

得點(早大)一四(明大)六(慶應) 六等久保田(慶應) 六等久保田(慶應)

教春劈頭の

大れた今し空際を受けたるのちかからは選出 大れた今し空際を受けたるのちかからは選出 大れた今し空際を受けたるのちかからは選出 大れた今し空際を受けたるのちかからは選出 大れた今し空際を受けたるのちかからは選出 を提覧に可え を提びる をとびる をとでる をと

英紡織界に

物凄い時化で

々大厄難に直面 産業界は新春早

の事に六川院で出された、常日の日午前十時より原原間に於て繋行 文學博士 黑板 勝美

京都帝國大學教授,吉澤一義則

文學博士 内庭成次郎 戦すべき脱御會端めの衛は二十三 文學博士 内庭成次郎 戦すべき脱御會端めの衛は二十三 大き就能「社演響」の詠道歌を披った。

お金五十萬圓也

勞農政府も妥協的態度に出で

めに 訓電

父渉進捗の模様

去年の來滿者一萬三千餘名 滿鐵旅客課の調査

■ シス大使館を通じて航空局に幣屋 で のて日本機関飛行を視ふべくフラ に 氏は千九百三十一年のトップを切っ 殿島、東京の三ケ所を指定し六日で、統空局は層陸地さして京第、 で、統空局は層陸地さして京城、

氷上選手權大會

きのふから盛岡に舉行さる

三十馬力で一月中に飛來する意識 が一般でしてあるがごれからしたである。 現に同様に午後入つたのである。 現に同様には中國節数 大冷本社に午後入つたのである。 現に同様には中國節数 はなが 乗続してゐるさ

教専の學生募集

度から無試職搬定受職者の二學斯・人の安否 むべき學生を夢集中であるが今年 ラ、セピ 教育戦門県校では四月に入學せる | は否領報

セキによる

を出し、ほかに戦災の海艦 が表出し、ほかに戦災の海艦 が出し、ほかに戦災の海艦 が出し、ほかに戦災の海艦 が出し、ほかに戦災の海艦 がある、被害の最も多さ がれてゐる、被害の最も多さ がなる。、ない、カビ て経熱なる膨脹が比単電六日養電通」活成より三 

傳染が多

海 新 出 張 所 斯 出 張 所

常天佐藤廣濟堂
常天井上誠昌堂

この頃の流行性感冒

皆さんマスクをかけませう

無になり六日は恐ろとい風深によって大連港ー帯を離がせてぬるが おい個にはるびん丸、大連丸脈 か はいので後はたく影響に が出版したのみで後はたく影響に が出版したのみで後はたく影響に かって入るるの 衛石に入港線定艦の変を聴から見。二十名宛合部四十名に禁じ七十名のて大津港一帯を聴がせてゐるが、までの志願者は採用人覧交連将奨解になり六日は避ろしい風源によ、一月廿日となつてゐるので冊一日年が改まつて影極の参らしいお天 | 成職を提出することになり織場も へ港豫定船 昨日ははるび 大連丸が 比律賓を 遅る ん丸や 僅に出帆 ボ中三千五百名は**會計館が來る十** ボーンレイ五日餐館通』 警地の

風襲人 氣道れる邦人

させるに反動し五日より同盟開発 建籔増加た實

特別取扱の 年賀郵便

ででに「雪物飯」を一覧のんで温かにして物度のします。 大低一晩で悪悪を愛飯

寒感がしたら

熱があつたり 頭痛がしたり

十萬通

全備で五百八

**慰眠に直配するに至った** 政度 白

政府白徳寡費所

### 月稲めから経歴院止戦を運動中で 月稲めから経歴院山戦を運動中で 村るにには是非さもこの改革を配 でするにには是非さもこの改革を配 を見るに至った大事で、最前線の を見るに至った大事で、最前線の を見るに至った大事で、最前線の を見るに至った大事で、最前線の を見るに至った大事で、最前線の を見るに至った大事で、最前線の を見るに至った大事で、最前線の を見るに至った大事で、最前線の を見るに至った大事で、最前線の 教育元サンタル商行業が表現の大阪市が選出新町一丁目指五番地大阪市が選出新町一丁目指五番地 お方に切にお奬 め申します 外の薬で治らぬ

東京市神田區明神下 東京市神田區明神下

速行 放戶 吉田晴凤储指導 R 四年 2日 (「今常里本選挙) 東京市小石川県 東部市八角川県

無代進星金壹四 据 等聚京二九九三二 東京尺八一新會 市小石川福江戸川町十

光烟醫院

三根眼科醫院

夏川 新江 靜江

演勝者敗者事御挨拶と實演のタ 挨拶(午後九時より) 挨拶(午後十時より) 日 園

日本各地名産 界各國酒類 雅老 あみ 佃 煮 小鳥てり くさやの干物 鰮を支援の を放ける を表現の を表現の で見る で見る 000

の る。姚剛質縣を見るに內地だけで 云ふことが 大であった学め紙 世界に緩慢 郷北上等会 水野に近づき國際に融級の蜒さは たこさを巻 水野に近づき國際に融級の蜒さは たこさを巻 飛り起の不野は際、本地の内政、 我関さしては全線製に伸ふ線管の 我関さしては全線製に伸ふ線管の **本関権**人は十四億四千七百萬間で 十一月迄の輸出は十三億五千三百

であって疾に怠ってはですするの。 を方配に軽る観光なる物学に変更、 として、一年年十二月の我国の物質、本国は一割五分八原、佛國の姫子 さして、一六三であったもいが十 さして、一六三であったもいが十 であって軽に怠脱者なる動化を及ば、きも一類酸に於て一物九分六原、 地域が採尿を搾破したものと見か として、一六三であったもいが十 であったの間に二物八原の概像が、本国は一割五分八原、佛國の姫子 であったの間に二物八原の概像であったので英国の姫子 であったの間に二物八原の概念を告 かってある。然も此態伊佐窓の が多かったのは全際親による絵書 に配 があってある。我国の経伸が である。我国の経伸が である。我国の経過が である。我国の経過が である。我国の経過が である。我国の経過が である。我国の経過が である。我国の経過が である。我国の経過が である。我国の経過が である。 では、 である。 では、 である。 では、 である。 である。 である。 である。 では、 である。 では、 である。 では、 である。 では、 でも、 では、 でも、 でも、 では、 でも、 でも、 でも、 でも、 できる。 では、 できる。 ・

七日夜のご

新職業靈威透熱療法

**多語六五四四番地大應市克玉町四番地** 

T



